

パイプオルガンコンサート

Kyrie eleison 主よあわれみたまえ

2015年11月15日 カトリック五反城教会

エルンスト・ペッピング (1901-1981)

コラール「我ら人生のただ中であって」によるトッカータとフーガ

Ernst Pepping: Toccata und Fuge „Mitten wir im Leben sind“

ジャン・アラン (1911-1940)

・子守歌

・第一幻想曲

Jehan Alain: Berceuse sur deux notes qui cornent

1re Fantaisie

マルセール・デュプレ (1886-1971)

おとめ、キリストの母 (ジャン・アランの記憶に)

Marcel Dupré: Virgo mater op. 40, 1 A la mémoire de Jehan ALAIN

ヨハン・ゼバスティアン・バッハ (1685-1750)

・キリエ、永遠の父なる神 BWV 669

・クリステ、全ての世の慰め BWV 670

・キリエ、聖霊である神 BWV 671

J. S. Bach: Kyrie, Gott Vater in Ewigkeit - Christe, aller Welt Trost - Kyrie, Gott heiliger Geist, BWV 669-671

トーマス・マイヤー＝フィービヒ (*1949)

アダージョ

Thomas Meyer-Fiebig: ADAGIO (2003)

ギュンター・ラファエル (1903-1960)

コラール「キリストは私のいのち」による幻想曲 (1945)

Günter Raphael: Fantasie über den Choral "Christus, der ist mein Leben" (1945)

演奏者プロフィール

トーマス・マイヤー=フィービヒ Thomas Meyer=Fiebig (Org.)

1949年ドイツ・ビーレフェルト市に生まれる。

ビーレフェルト市マリエン教会の主任牧師を父とし、幼少の頃からパイプオルガンを始めとする教会音楽全般に多大な影響を受けながら育つ。

デトモルト国立音楽大学へ作曲専攻にて入学。作曲をヨハネス・ドリースラーとギセルヘル・クレーベに師事。1974年に教務課程科を卒業、ドイツ国家資格を教務課程において取得後、1975年には音楽教育家のドイツ国家試験を取得。引き続き同大学院作曲課程科に学び、1978年に卒業。1978年来日。

以来、国立音楽大学及び大学院にて作曲科の教授として後進の指導にあたる。ドイツ各地の大学にても特別講義講師としてたびたび招聘されている。2015年国立音楽大学退官。国立音楽大学名誉教授の称号を得る。

作品の分野は諸編成の交響曲、室内楽曲、声楽曲から和楽器のアンサンブル曲等にも及び、中でもパイプオルガンのための作品はその創作活動の中で重要な位置を占める。これらの作品は世界各国の多くの演奏家により取り上げられ、ドイツ放送局、西ドイツラジオ、ヘッセン放送局、NHK等の放送局等によっても頻繁に収録、放送されている。

又、多くのパイプオルガン曲、並びにピアノ曲を中心とした室内楽作品がドイツのメーゼラー出版社と全音楽譜出版社より出版されている。作曲家としての活動の傍らオルガニストとしても活発な演奏活動を続けており、1998年にはドイツのエルツ山脈地方ナッサウのジルバーマン製作の歴史的オルガンにてCDを収録した。

名古屋オルガンの秋の入場料

基本的に、どなたにでも気楽にパイプオルガンの響きを楽しんで頂きたいとの思いから、決まった入場料はいたしません。名古屋より楽しいパイプオルガンの魅力を多彩に発信し、音楽が心の豊かさへつながることを願う「名古屋オルガンの秋」の趣旨にご賛同いただける様でしたら、今後の継続的な活動の為に、コンサート後にご任意の寄金をお願いいたしております。

「名古屋オルガンの秋」は、カトリック五反城教会の新立大輔主任司祭、七種照夫神父と信徒の方の大きなご理解とご協力を頂いて、実行が可能となっています。

また、以下の各社・団体からもご協賛をいただいております。

この場におきまして、お越しくございました方々同様厚くお礼を申し上げます。

オルガン工房ヴィリ・ペーター 株式会社日進衣料 サンメッセ株式会社
名古屋真宗学院「学院倶楽部」(ブリティッシュ・アカデミー)